

問35 高齢時の住まいへの不安理由

(H22調査 問32)

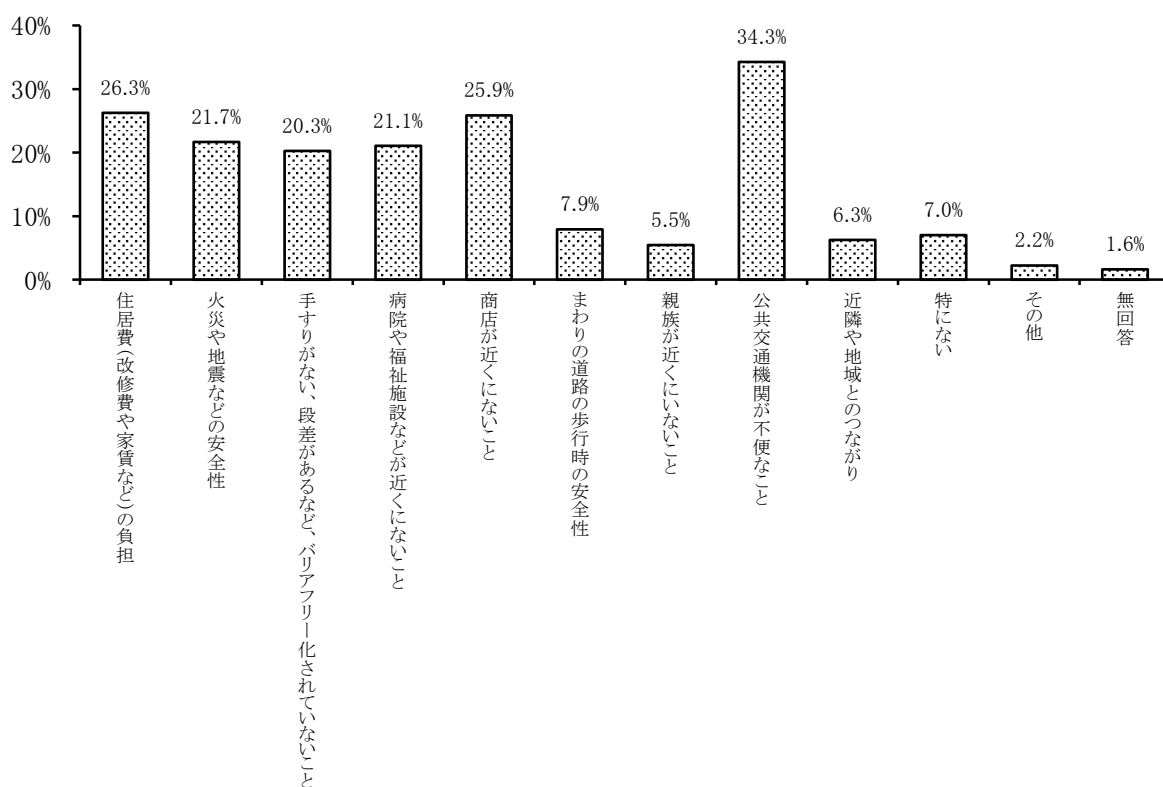
◆ 高齢の不安

「公共交通機関が不便」「商店が近くにない」「住居費の負担」上位に

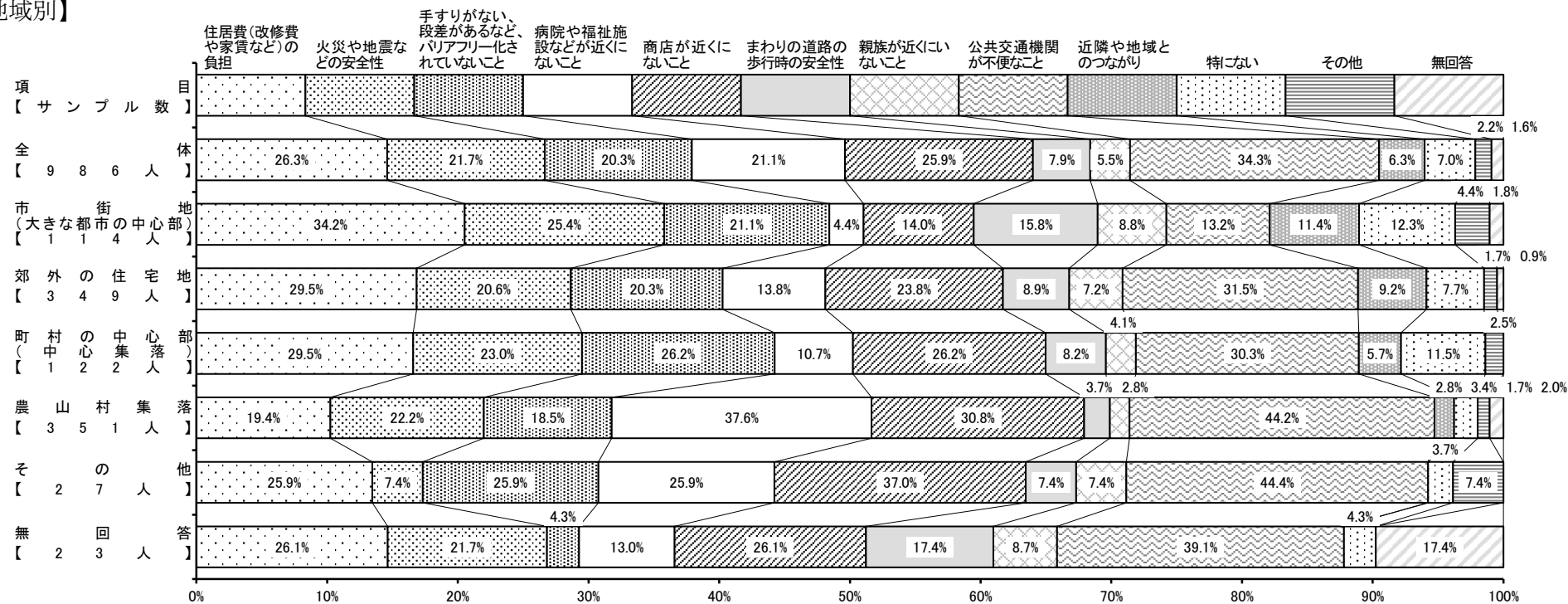
- 高齢となった時の住宅の不安について尋ねたところ、前回調査の項目になかった「公共交通機関が不便なこと」が34.3%と最も多く、次いで「住居費(改修費や家賃など)の負担」26.3%、前回調査で最も多かった「商店が近くにないこと」は25.9%と三番手となった。
- 住宅形態別にみると、持家の共同住宅で「住居費(改修費や家賃など)の負担」75.0%、また公営住宅で「火災や地震などの安全性」60.0%とそれぞれ非常に高くなっている。
- 地域別では、農山村集落で「公共交通機関が不便なこと」44.2%と「病院や福祉施設などが近くにないこと」37.6%と、ほかの居住地と比べ当該2項目が突出して高い結果となった。

問 35 あなたが高齢者になったとき(現在高齢者の方も含まます。)のことを考えて、現在住んでいる住宅及びその周辺について不安に感じることはありますか。次の中から2つ以内で選んでください。

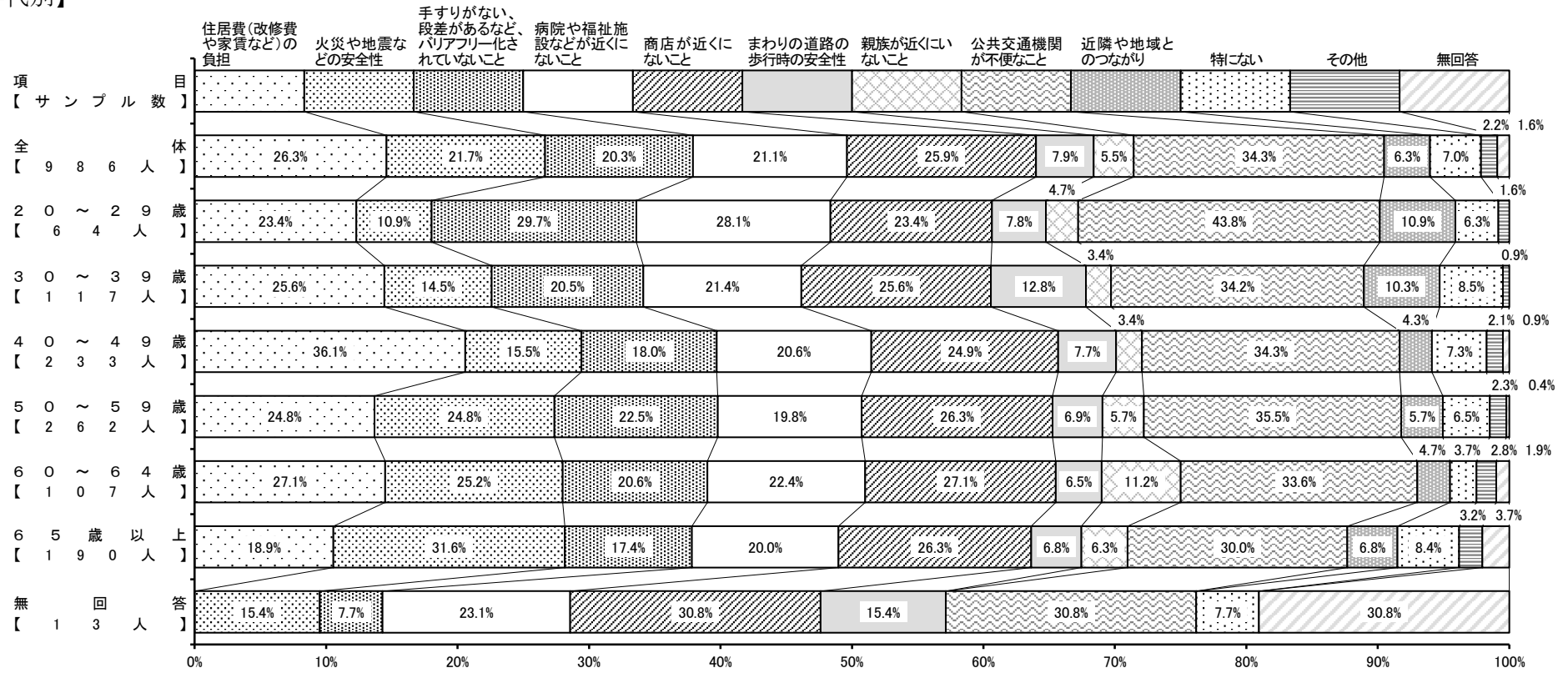
	回答者数	割合
1 住居費(改修費や家賃など)の負担	259人	26.3%
2 火災や地震などの安全性	214人	21.7%
3 手すりがない、段差があるなど、バリアフリー化されていないこと	200人	20.3%
4 病院や福祉施設などが近くにないこと	208人	21.1%
5 商店が近くにないこと	255人	25.9%
6 まわりの道路の歩行時の安全性	78人	7.9%
7 親族が近くにいないこと	54人	5.5%
8 公共交通機関が不便なこと	338人	34.3%
9 近隣や地域とのつながり	62人	6.3%
10 特にない	69人	7.0%
11 その他	22人	2.2%
無回答	16人	1.6%
サンプル数	986人	100.0%



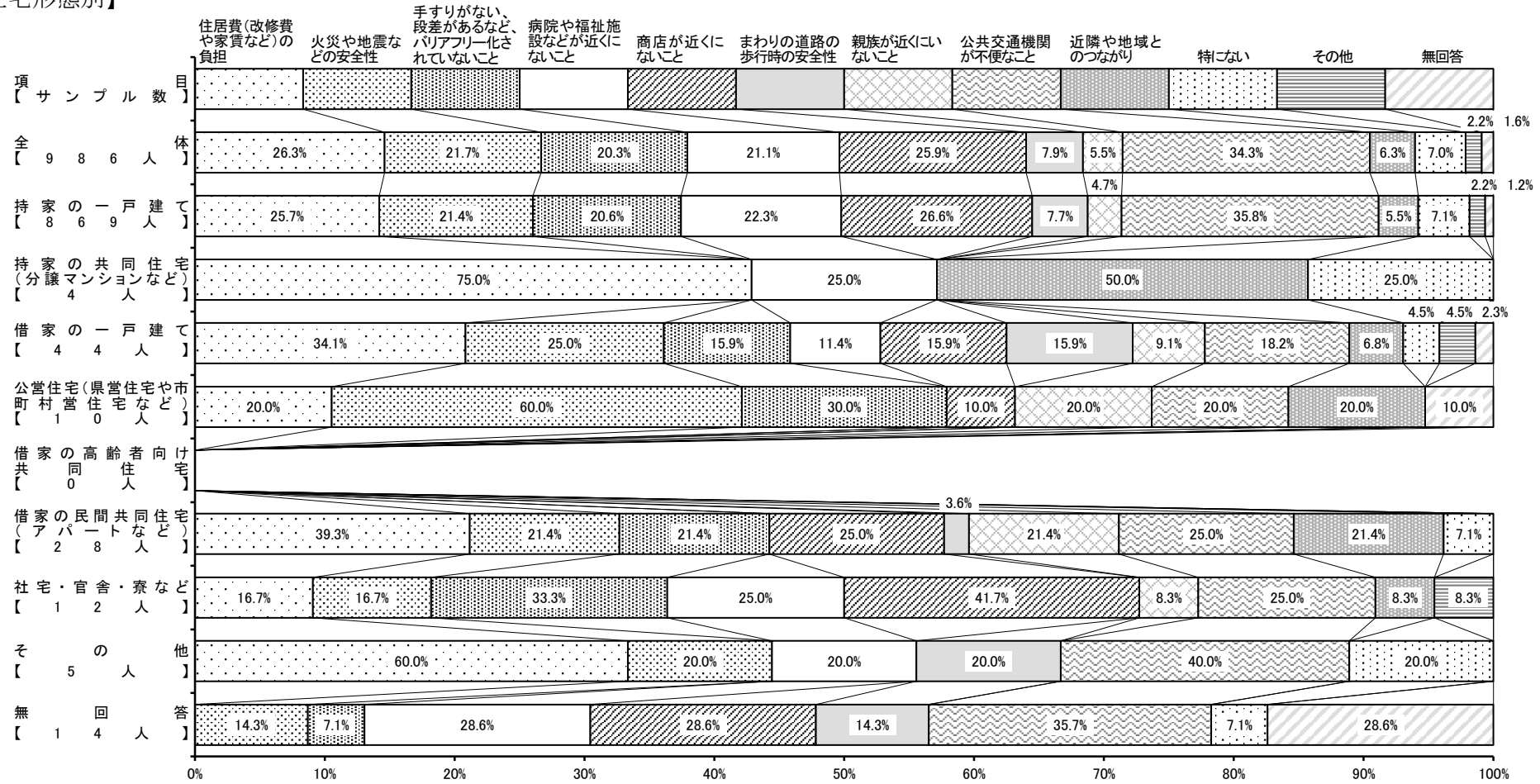
【地域別】



【年代別】



【住宅形態別】



問36 高齢時の住まい方

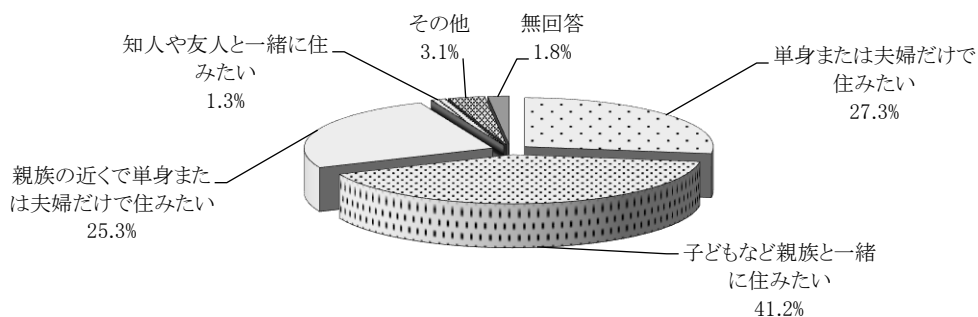
(H22調査 問33)

◆ 高齢になったら「子どもなど親族と一緒に住みたい」41.2%

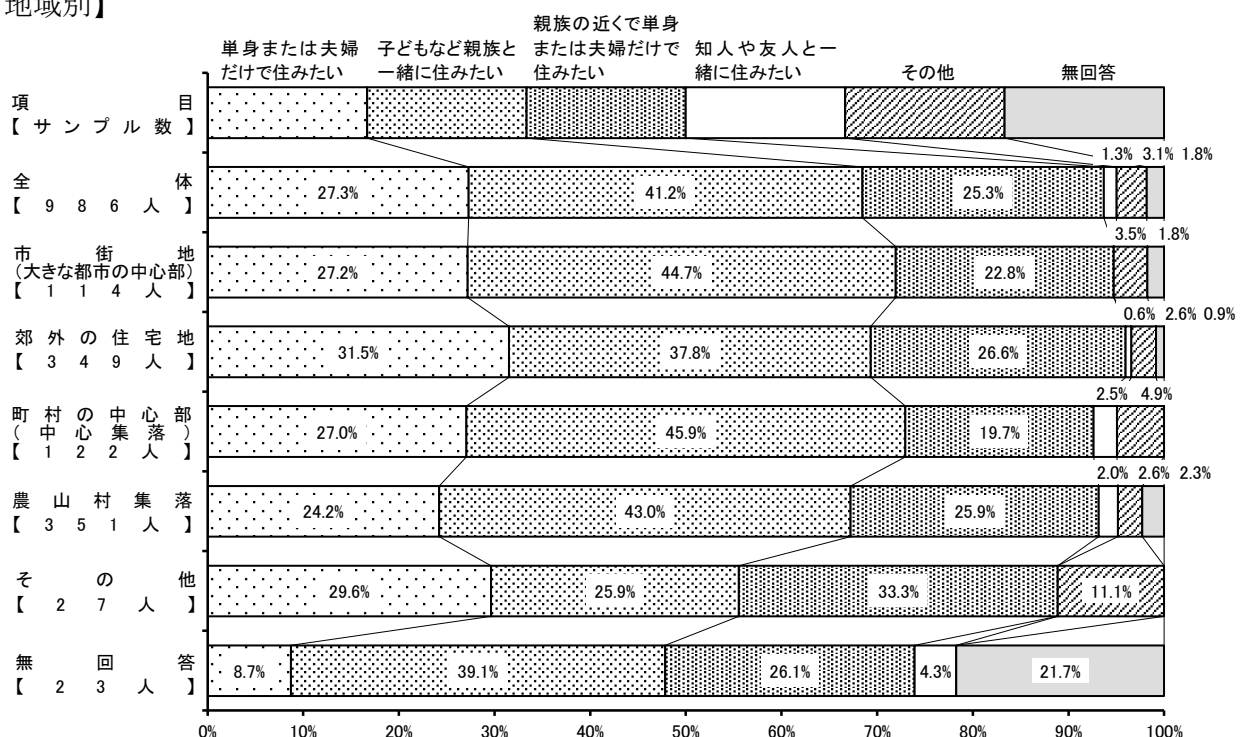
- 高齢者となったときの同居者についての問いに対し、前回調査と同様に約4割が「子どもなど親族と一緒に住みたい」を希望する結果となった。次いで「単身または夫婦だけで住みたい」が27.3%、僅差で「親族の近くで単身または夫婦だけで住みたい」が25.3%と続いている。
- 年代別にみると、「子どもなど親族と一緒に住みたい」が最も多いのは20代で48.4%となった。
- 地域別では、郊外の住宅地で「単身または夫婦だけで住みたい」が3割を超えている。

問 36 あなたが高齢者になったとき(現在高齢者の方も含まます。)、誰と一緒に住みたいと望んでいますか。

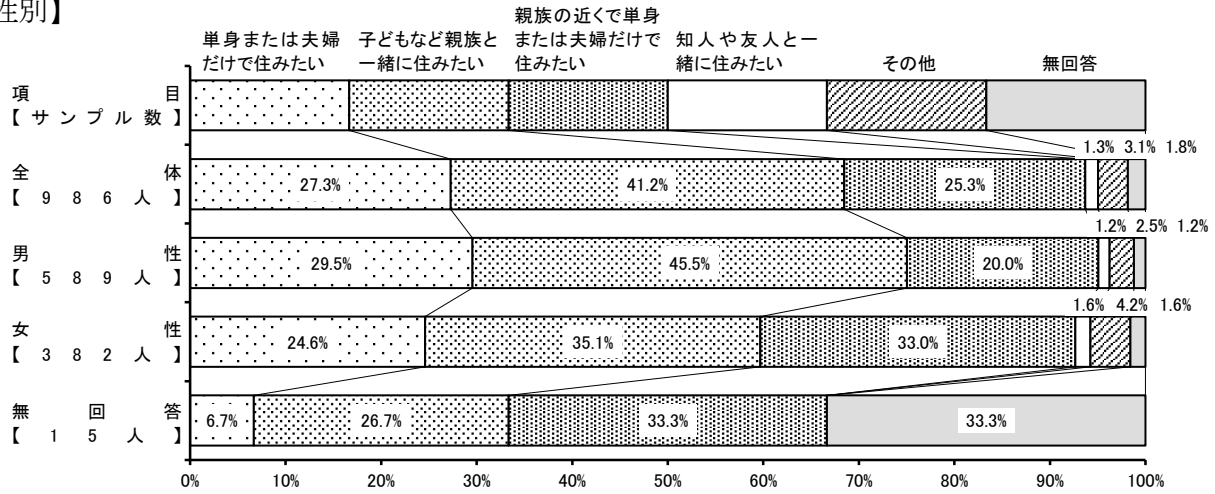
	回答者数	割合
1 単身または夫婦だけで住みたい	269人	27.3%
2 子どもなど親族と一緒に住みたい	406人	41.2%
3 親族の近くで単身または夫婦だけで住みたい	249人	25.3%
4 知人や友人と一緒に住みたい	13人	1.3%
5 その他	31人	3.1%
無回答	18人	1.8%
サンプル数	986人	100.0%



【地域別】



【性別】



【年代別】

